

# OfByForコラム 地域の 地域による 地域のための Something NEWS

## 第13回

# 地域資源のローカル鉄道と地酒で、地域活性化

一般社団法人 光楓座  
一般社団法人 e f c o . j p  
代表理事 佐藤建吉

▼ふるさとの鉄道は？  
ふるさとの自慢の地酒は？

東京一極集中の風潮は、ふるさとの元気を奪っている。人口減少により、ローカル鉄道の経営が困難な路線が出てきている。そうした路線に

は、独自の再生活性化プランを掲げて努力している路線もある。日本酒の酒蔵数も減少の一途をたどり、大手の寡占化の傾向にあり、地方の酒蔵は、経営が厳しい現状にある。

本稿で紹介する「鐵の道」は、全国のローカル鉄道と酒蔵が連携して、純米酒の地酒を商品ツールとして、沿線の地域活性化を図るシナジー・プロジェクト。従来、鉄道会社や酒造が独自に行っているPR活動や誘客活動も、「鐵の道」という共通銘柄に統合して分かりやすく行つものだ。

「鐵の道」の第1号は、2009年に、国交省「新たな公」の公募事業において、筆者(光楓座)の提案で、千葉県の

「いすみ鉄道応援酒」として、沿線の木戸泉酒造から誕生した。その事業は、観光客をローカル鉄道沿線の地域に誘客するにあたって、地域全体がミュージアムとなる「エコミュージアムの環境整備」を進める活動だ。

### ▼「鐵の道」の現況

ローカル鉄道と地酒の連携で、地元を活性化しようとする「鐵の道」は、現在までに、次の11の酒蔵から誕生している。

- ◆第1号：千葉県・いすみ鉄道\*木戸泉酒造
- ◆第2号：大阪府・水間鉄道\*井坂酒造場
- ◆第3号：3・11で被災した岩手県・三陸鉄道北リアス線\*福来(酒造)
- ◆第4号/第5号：埼玉県・秩父鉄道\*武甲酒造、矢尾本店
- ◆第6号：長野県・しなの鉄道\*沓掛酒造
- ◆第7号：福井県・えちぜん鉄道\*一本義久保本店
- ◆第8号：富山県・富山地方鉄道\*銀盤酒造
- ◆第9号：岩手県・三陸鉄道南リアス線\*浜千鳥(酒造)から復旧記念
- ◆第10号：高知県・土佐くろしお鉄道中村・宿毛線\*藤娘酒造
- ◆第11号：2017年4月に岐阜県・明知鉄道\*岩村醸造

地域の水と米、さらに土着園と技で醸される。簡単に休業・廃業してはならない「地域の象徴」だ。ふる里を守り、その価値を遺す必要がある。ローカル鉄道も同様だ。いとも簡単に廃線し、通勤・通学をバス輸送にしなければならない。地域と地域を繋ぐ、地方と東京を繋ぐ、それが「鐵の道」と言える。「鐵の道」はOfByForの概念に、正に根ざしたものとと言えるだろう。

### ▼「鐵の道」は、地域の元気がであたい！

鐵道は、地方と東京を繋ぎ、また、それぞれの文化を運ぶ装置だ。これに倣い「鐵の道」は、お酒と食の文化や、地方の自然環境、伝統と文化、それに歴史的・文化的遺産、地域の特産物や自慢の銘品を、地方と東京を相互に活性化し、交流するためのツールであつて欲しいと思う。

そのため、「鐵の道」の全国化と同時に、「鐵の道」の姉妹品として、「鐵の娘道」(てつのおんなち)を開発し、地域のプレミアムブランド品としての商品化を進めている。「鐵の娘道」は「鐵の

道」の御つまみとしてだけではなく、単独に購入できる、鉄道沿線の食品や銘菓などの商品ブランドだ。

「鐵の道」は、この10年で、全国47蔵「鐵の道」をリリースすることを目標としている。

### ▼「鐵の道」は地域資源をまもる

本紙読者の多くの方がご存知の、会津電力で自然エネルギー革命を推進されている佐藤弥右衛門氏は、酒造家でもある。「鐵の道フォーラム」で、地酒(同氏は郷酒)の話題提供を依頼した。同氏はそのセミナーにおいて、会津で水力発電を行うことを説かれていた。地域を守る思いが、今日の会津電力や、自然エネルギー革命へのスピリットなつている。

地方に分散した地域資源を重ねれば、東京に負けないパワーとなる。そのため「鐵の道」を通じて、地域に誇りと愛着を広げたい。

◆ ◆ ◆  
全国ふるさと大使連絡会議2017年夏季交流会が開かれます。7月28日(金)18時、KYRホテル東京で「鐵の道」のプレゼンと試飲会が行われます。関心をお持ちの方は、是非ご参加ください。

⑧富山県：富山地方鉄道(銀盤酒造)



⑦福井県：えちぜん鉄道(一本義久保本店)

④埼玉県：秩父鉄道(武甲酒造)  
⑤埼玉県：秩父鉄道(矢尾本店)



③岩手県：三陸鉄道北リアス線(福来)  
⑨岩手県：三陸鉄道南リアス線(浜千鳥)



⑥長野県：しなの鉄道(沓掛酒造)



①千葉県：いすみ鉄道(木戸泉酒造)



⑪岐阜県：明知鉄道(岩村醸造)

②大阪府：水間鉄道(井坂酒造場)

⑩高知県：土佐くろしお鉄道中村・宿毛線(藤娘酒造)



連載・イベント

◎申込み先：TEL0900-120007-500002(佐藤)